

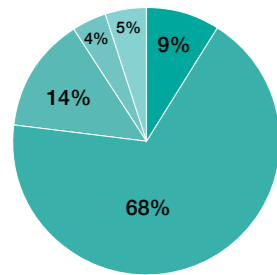
## 講評



まったりできる場所をつくるや掃除をするなど、簡単なことでもやってみることで、一人ではなくみんなで楽しめる場ができるので非常に良いアイデアだと思います。チームごとに話し合ってもらいましたが、同じような活動アイデアもあがっているので、そういったところはチームをまたいで一緒にやることでより活動に深みができるかと思えます。活動ターゲットを「市民」や「みんな」とせず、より具体的に定めることで活動が明確になると思うので、もう少し考えていただければと思います。

## アンケート結果

Q1. 今回のワークショップの感想を教えてください。



- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- やや悪かった
- 悪かった
- 無回答

Q2. 一番印象に残っていたことは何ですか。

- 全市民の楽しみを考えていることが分かった。
- 高浜でコスプレが盛り上がっているという話を聞いたこと。
- 内容が一気に現実的になった。
- 「教育」というものを通じて、思った以上に「地域の文化」に即した学びに感心をもつ人が多くいたこと。

Q3. 改めて自身の「しあわせ」って何だと思われましたか？

- みんな(多勢で)食事をしたい!
- 自分主体で考えることが大切なのかと思いました。求められることはできないかもしれないし、できることしかできないので。

Q4. 今後、後チームで活動していく上で考慮してほしい点、不安な点などありますか？

- 参加メンバーの確保
- 共同作業がスケジュール・気持ち・考え方含めうまくいくのか

Q5. その他感想をご自由にお書きください。

- 小山さんは鈴木福くんに似ている!
- 聞いていて勉強になりました。

## 宿題

これから活動動画をつくることになるので、その練習としてチームごとに、今回のワークで考えたことをベースに何かやってみて動画を撮ってきてください。第5回のワークショップは、動画のレクチャーになるのでどんな風に撮ると良く見えるのかということを学んでいただけるかと思えます。

## きっと仲間が見つかる。

# プロジェクト紹介カード



これから高浜市をよりよくしていくには、アイデアを考える人やプレーヤー、活動に興味をもってくださるようなたくさんの仲間を増やしていく必要があります。プロジェクト紹介カードを使って、ご自身がワークショップで楽しく感じることに共感を得られる人を見つけ、ワークショップ参加してくれる人を招待してあげてください。誰かを招待して来てくれた方には、何かプレゼントがあるかもしれません。

### T-LINE って？

ワークショップには「T-LINE」と呼ばれる市職員が入っています。ヒアリングやワークショップのファシリテーション技術を習得する研修を受けてきました。行政と市民、市民同士をLINEのようにつなぐ役割を担っているという思いが込められています。

## studio-L

studio-L (スタジオエル) は、代表の山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住むひとたちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、いえしま地域まちづくり、海士町総合復興計画など、まちづくりのワークショップや住民参画の総合計画づくりなどに携わっている。http://www.studio-l.org

〈問合せ先〉高浜市役所総合政策グループ

〔住所〕〒444-1398 高浜市青木町四丁目1番地2 [電話] 0566-52-1111 (内線339) [E-mail] seisaku@city.takahama.lg.jp

# 高浜市で「何が一番楽しいこと」ははじめませんか？

高浜市しあわせづくり計画  
ワークショップ

TAKAHAMA HAPPY LETTER  
vol.4  
2015.11.28.Sat



## チームに分かれて 実践的にできることを考えました

第4回目となるワークショップを開催しました。前回のワーク「自分が身近な人のためにできること」で提案されたアイデアを傾向別に分類した、6つのチームに分かれて、各チームのテーマに沿った実践できそうな内容を深めていきました。テーマに沿って話し合うことで、どんなことができそうかというアイデアに留まるのではなく、いつ、誰にするのかという具体的な視点をもって意見交換をすることで活動の実現性を考えることができました。

### 第3回ワークショップの振り返り

レクチャー「いろいろな角度から見ること」では、自分たちがこれから新たな取り組みを考えるには、世界・日本各地の先進的な事例知ることが大切だということ学びました。テーブルワークでは、先進的なアイデアと自分のアイデアを掛け合わせ、自分の身の周りの人のためにできることを考えました。

[日時] 11月28日(土) 13:30~16:30

[場所] いきいき広場

[プログラム]

- ・開会のあいさつ
- ・第3回ワークショップの振り返り

・ブレイクタイム

・シークレットフレンド

・自己紹介ゲーム

・テーブルワーク①

宿題の確認

・レクチャー

これからまとめていく内容について

・ブレイクタイム

・5W1H作文ゲーム

・テーブルワーク②

これより実践! 活動内容を考えよう!

・発表

・閉会のあいさつ





## ブレイクタイム...

# シークレット フレンドゲーム

白紙に自分の名前を書いて、チームの中で紙をシャッフルし、他の誰かの名前が書かれた紙を引きました。引いた名前はワークショップが終わるまで伝えることができず、1日相手の良い所をそっと観察しました。終わってから、相手への感謝の気持ちをサンキューカードに書いて渡しました。



# 自己紹介 ゲーム

同じ興味関心を持つテーマごとにチームになったので、仲良くなるために「しゃべるカード」を使って自己紹介をしました。カードには、「絵にする」や「ため口で話す」などのお題が書かれており、お題にそって自分を表現しました。

しゃべるカードはHAB-YU(<http://hab-yu.tokyo/tool>)からダウンロードできます。



# 5W1H 作文ゲーム

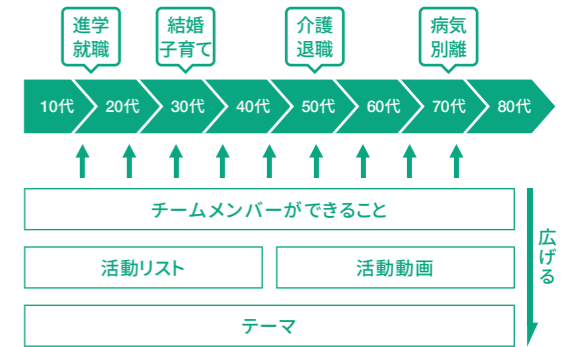
これからの活動はひとりではなく、チームとしてやっていくので、他の人がどんなことを考えているのかを探るようなゲームをしました。テーマは、「しあわせ」。1人1文ずつ、いつ・どこで・誰が・誰と・何を・どうしたを書いていき、ひとつのストーリーをつくりました。



## レクチャー...

# これからチームでやること

今後はチーム毎で、これまでアイデアとして出してきた自分や自分たちが楽しめる活動を実践しながらも、それが何か困っている人の助けになり、誰かのしあわせに繋がることを考えていきます。ワークショップでみなさんが考えていることは、身近な楽しみやしあわせづくりであって、それは誰もが簡単にできる活動になります。進め方として、まずワークショップに参加しているメンバーができる身近な活動を検討して、それをリスト化します。さらに、多くの人にその活動をよりよく知ってもらうための一つの手段として、活動を動画で撮影しておきます。来年度以降は、皆さんに検討していただいた活動リストと付随する動画を学校や職場、社協などで活用できるツールとして使用していきます。そうすることによって、高浜市内により身近な地域福祉を広めていきたいと考えています。当然、この活動リストの内容は、現在策定している地域福祉計画にも関連させていく予定となっています。福祉というと介護や病気をイメージしてしまいがちですが、年代によって進学や就職、結婚や子育てと、福祉に対する捉え方は違ってきます。現在のチームにいるメンバーができること→市民にもできる地域福祉として実践していただければと思います。



## 財政破綻をした夕張市の地域福祉

夕張市の地域福祉事例をご紹介します。夕張市は、財政破綻をした市です。破綻に伴い診療所の数も減少しましたが、市民の健康に対する意識は良い方向へと変化しました。自宅で運動をするなど、病院に通わない健康予防をするようになりました。自分が病気をしても家族や地域の人たちと過ごしたいという傾向も見られるそうです。また、認知症を抱えながらも雪かきをされている人を地域で見守る目もあるそうです。夕張市民は、人生を長期的に見ることで、人との繋がりというのは、自分の人生や暮らしを豊かにすることに気づいたのかもかもしれません。



破綻からの奇蹟(森田洋之)

## Random act of kindness

活動動画づくりの参考に、アメリカを中心に広がっている、誰かを幸せにすることを動画に納める取り組み「Random act of kindness」を紹介します。YOUTUBEにたくさん動画がアップされていますが、今回見る動画では、子どもたちが焼いたケーキを消防士さんに渡したり、他所の家の玄関に花を置いていくといったことがされています。アメリカの気質だからできるということもありますが、身近なしあわせづくりは本当に簡単なことをするだけでも充分だということが分かります。



Random act of kindness  
[www.randomactsofkindness.org/](http://www.randomactsofkindness.org/)

## 宿題共有...

# 私が身近な人のためにできること、 地域包括ケアの動画を見る

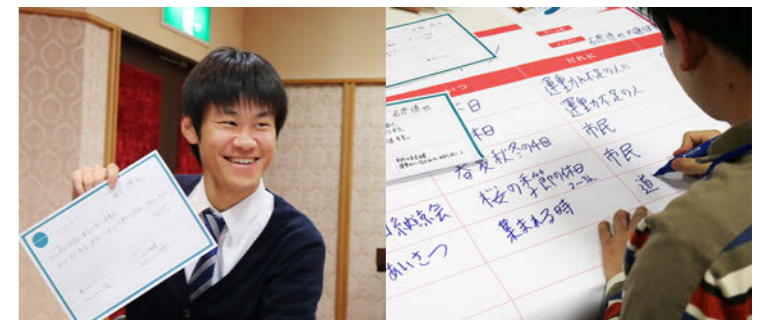
2つの宿題を出しました。1つは、前回のワークショップで考えた「私が身近な人のためにできること」を実践し、写真に納めてもらう宿題。テスト期間中の弟に勉強を教えてきた方や毎日元気にあいさつした方など、それぞれができる範囲で実践してきておられました。身近な「しあわせづくり」を体感していただけたかと思います。もう一つは、ワークショップでの主目的は、地域福祉計画づくりなので、「高齢者の暮らし 地域みんなで支えます~地域包括ケアシステムの構築~」を見ていただきました。2025年には認知症になる人は5人に1人、癌になる人は2人に1人とされています。将来、歳を重ねた時の不安が漠然とあるかと思いますが、数字として見ることで、地域福祉課題を身近に感じてもらえたかと思います。



## テーブルワーク...

# これより実践! 活動内容を考えよう!

ワーク1では、30枚の事例シートをグルーピングしていき、活動の楽しさや発想の転換方法を学びました。その後、グルーピングしたものに対して自分ができることを掛け合わせることで、より面白い企画を考えました。ワーク2では、いままで考えたアイデアをふまえて、自分の身の回りにいる家族や友だちが困っているような課題を解決できる企画を考えました。





## 発表



### アウトドア

地元の子どもたちと、鬼ごっこや缶蹴りなど簡単にできる遊びを、場所を限らずにゲリラ的に実施し、活動を広めていければと考えました。また、アウトドアといえばBBQということで、高浜の特産品をつかったBBQができればと思います。他には、野宿体験というアイデアもあがりました。災害はいつ起きるか分かりません。休日に、実際に避難場所となるところでできればということもあがりました。

なにを	いつ	だれに	どこで
子ども遊び(①)	休日、晴れた日	・子ども ・子ども心を持った大人	公園など(ゲリラ) 子どもが多い場所
高浜版BBQ	休日、晴れた日	・腹が減った人 ・WSメンバー	どこでも!
自然のまきづくり!!	休日、晴れた日(冬)	・子ども ・子ども心を持った大人	シークレット!!
災害対策用野宿体験!! -サバイバル-	休日(晴)	全員	避難場所
鬼みちでゴミ拾い 散歩!!(③)	休日(晴)	全員	鬼みち
カンパセーション清掃(③)	休日(晴)	現地の方と	河川沿い
のんびりする(②)	休日(晴)	・ひまな人 ・のんびりしたい人	・公園 ・レッツ高浜



### 教育

市内で廃品回収をしているが、そのごみが最終どうなっているかを知らない。子どもを対象に、廃品回収をしたごみがその後どうなるのかを学べる機会をつくれればと思います。また、子どもはあいさつができていないが、大人ができていないと思うので、日を決めて、みんなであいさつができればと思います。

なにを	いつ	だれに	どこで
ゴミの行き先を知る	廃品回収のあと	子ども達、子ども会 (親子、小学生)	ゴミ再生工場
三州瓦の歴史 (撮影可能)	毎月1回程度	親子 (小中学生とその親)	美術館 →文化芸術とコラボ?
街歩き	天気の良い日	親子(興味のある人)	市内
スマホなどの使い方説明	病院がOKしてくらた時 (場の提供がOK)	知りたい人	病院の待合室? コメダ? (集まれる場所)
大人のあいさつ運動 (撮影可能)	あいさつの日 (毎月1回決める!!)	市民、すべての人	市内全て、電車 →健康とコラボ?



### 健康・スポーツ

運動不足の人をターゲットに、休日の空いた時間、中央公民館でスポーツ大会やリズム体操ができればというアイデアがあがりました。また、四季ごとに市民みんなでゴミ拾いができればと思います。

なにを	いつ	だれに	どこで
スポーツ大会	休日	運動不足の人に	中央公民館
リズム体操	休日	運動不足の人に	中央公民館
ゴミ拾い	春夏秋冬の4回	市民	稗田川
納涼会	桜の季節の休日 (2~3人)	市民	小公園
ウォーキング+あいさつ	集まれる時	道沿いの人	市内



### 食

いまレッツ高浜内では、地元野菜の販売もしており、地元農家と良い関係が築けてきています。食ということでコスト面の心配があるが、なるべくコストが掛からないようにできればという意見があがりました。他には、食レポということで、グルメ情報サイトは信憑性に欠けるところがあるので、地元目線でマニアックな紹介ができればというアイデアもあがりました。



### 音楽・踊り

実現したいと話合ったことは、武道館を目指すアイドルグループをつくることです。はじめは小さなところからということで駅前からスタートし、武道館までいけると良いというアイデアができました。また、毎朝の通勤・通学で元気がない人を励ませるように、コスプレをして元気のでる歌を歌えればというアイデアもあがりました。



### 文化・芸術

鬼師さんの職業を体験できるような、粘土作品づくりができればというアイデアがあがりました。聞いた話では、不妊治療に効くそうです。認知症の予防も期待できるかと思います。また、高浜にはコスプレヤーが多く、景色が良い所で写真を撮っているそうなので、いい写真をネットにあげたり、地図にしたりして、まち歩きができればというアイデアもあがりました。

なにを	いつ	だれに	どこで
鍋をふるまう	出来る日に	レッツ高浜利用者	レッツ高浜で
ちょっとしたお菓子配布	受験シーズンに	駅利用者	高浜の駅で
食事会	出来る日に	食の集い関係者 +興味のある方々	こがねや
食レポ	出来る日に	市内のお店の方	こがねや
持ち寄り食事会	出来る日に	食の集いメンバー	中部公園
各家庭のカレーを楽しむ会	出来る日に	カレー好き	いきいき広場
持ち寄り食事会	今年度内	まずはメンバー (+関係者)	二池会館

なにを	いつ	だれに	どこで
健康予防体操	夏のラジオ体操	高齢者・子ども	学校・公園
世代別紅白歌合戦	大みそか	全世代	体育館
市民の特技披露	毎月	全市民	公民館・体育館
校歌の大合唱	地域のイベント	全市民	公園・広場
コスプレして歌う	クリスマス	園児	各幼稚園
アイドルグループを作る	年度内	全市民	駅→武道館
励ましの歌	毎朝	働く人	駅前

なにを	いつ	だれに	どこで
粘土作品	鬼師さんの都合のいい日	市内の人	どこでも
撮影スポット	いつでも	たくさんの世代	インターネット
撮影スポット	いつでも	たくさんの世代	QRコードを付けて 説明動画マップ (名鉄とコラボ)
高浜の昔のこと	早いうちに	おじいちゃん おばあちゃん	老人ホーム